

# 平成25年度 事業報告

## I 法人の概況

### 1. 設立年月日 昭和49年2月8日

協会は、昭和49年2月8日に(社)青森県家畜畜産物衛生指導協会として設立。平成15年7月1日に(社)青森県家畜畜産物衛生指導協会を存続法人として、(社)青森県畜産会及び青森県肉用牛協会が再編統合し名称を「(社)青森県畜産協会」に変更した。

平成20年6月1日に青森県草地畜産協会と統合。更に平成22年4月1日に(社)青森県畜産物価格安定基金協会と合併した。

平成25年3月21日付け指令707号で青森県知事から一般社団法人への移行認可を得て、平成25年4月1日付けで「一般社団法人青森県畜産協会」に移行した。

### 2. 定款に定める目的

協会は、畜産経営の安定向上及び安全で良質な畜産物の生産と流通に関する事業を行い、畜産の振興に寄与することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- (1) 畜産に係る生産の振興及び経営技術の指導に関する事業
- (2) 畜産に係る調査・研究及び情報の収集・提供並びに畜産指導員の教育及び養成に関する事業
- (3) 畜産農家等が組織する団体の運営の指導に関する事業
- (4) 草地基盤や自給飼料に係る調査・指導及び放牧促進に関する事業
- (5) 畜産物に係る普及啓発及び流通・消費拡大に関する事業
- (6) 経営安定のための肥育牛及び肥育豚に係る生産者積立金及び補填金の交付等に関する事業
- (7) 肉用子牛生産安定等特別措置法に基づく肉用子牛生産者補給金の交付等に関する事業
- (8) 家畜の健康保持等に係る技術指導及び予防接種並びに家畜伝染病の発生時における損失補填金の交付等に関する事業
- (9) 農場の生産衛生の指導及び検査並びに畜産物の安全性確保に関する事業
- (10) その他協会の目的を達成するために必要な事業

### 4. 所管官庁に関する事項 青森県 農林水産部 畜産課

## 5. 会員の状況

区 分	年度当初 会員数	25年度		年度末 会員数	備 考
		増	減		
正 会 員	83	1		84	青森県養蜂協会
賛助会員	2			2	
計	85	1		86	

## 6. 主たる事務所 青森市中央二丁目1番15号（畜連ビル2F）

## 7. 役員に関する事項

### (1) 代表理事（会長）・業務執行理事（専務理事）

区 分	氏 名	所 属 団 体	年月日
就任 代表理事	渡 部 毅	学識経験者（会長） （一般社団法人への移行に伴い就任）	H25. 4. 1
就任 業務執行理事	山 田 育 夫	学識経験者（専務理事） （一般社団法人への移行に伴い就任）	

### (2) 理事

区 分	氏 名	所 属 団 体	年月日
任期满了 再任	全理事15名 再任		H25. 6. 20
辞任 副会長・理事	常 田 道 彦	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員	H25. 6. 29
就任 理事・副会長	井 上 主 税	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員	H26. 3. 18 H26. 3. 31

### (3) 監事

区 分	氏 名	所 属 団 体	年月日
任期满了 再任	全監事 2名 再任		H25. 6. 20

## 8. 職員に関する事項

### (1) 職員の異動等

区 分	氏 名	年月日	備 考
採用	臨時職員 新 山 藍	H25. 4. 1	価格安定・衛生課
退職	臨時職員 横 濱 修	H26. 3. 31	牛の検査材料保冷施設

### (2) 職員数の動き

（正職員9名、嘱託1名、臨時2名、非常勤を除く。）

前期末 職員数	増	減	本年度末 職員数	平均年齢	平均勤続 年 数	備考
12	1	1	12	41.7	14.5	

## 9. 総会及び理事会の開催に関する事項

### (1) 第1回理事会

期日場所：平成25年5月29日、ラ・プラス青い森

- 議案：第1号議案 平成24年度事業報告書及び計算書類等の承認について  
第2号議案 平成25年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法について  
第3号議案 平成25年度借入金限度額及び取引金融機関の承認について  
第4号議案 平成25年度役員報酬額について  
第5号議案 平成25年度事業計画及び収支予算の決定について  
第6号議案 業務方法書及び業務規程の一部変更について  
(肉用牛肥育経営安定特別対策事業、肉用子牛補給金事業)  
第7号議案 肉用牛肥育経営安定特別対策事業の推進について  
第8号議案 理事の取引(利益相反)の承認について  
第9号議案 重要な使用人の承認について  
第10号議案 任期満了に伴う役員候補者について  
第11号議案 第10回定時総会の開催期日及び提出議案について  
第12号議案 第2回理事会の開催について

### (2) 第10回定時総会

期日場所：平成25年6月20日、ラ・プラス青い森

- 議案：第1号議案 平成24年度事業報告書及び計算書類の承認について  
第2号議案 平成25年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法について  
第3号議案 平成25年度事業計画及び収支予算の報告について  
第4号議案 役員報酬規程について  
第5号議案 平成25年度の役員報酬について  
第6号議案 肉用子牛補給金業務規程の一部変更について  
第7号議案 平成25年度生産者積立金融事業の借入金限度額及び借入先の承認について  
第8号議案 役員の改選について

### (3) 第2回理事会

期日場所：平成25年6月20日、ラ・プラス青い森

- 議案：第1号議案 会長、副会長及び専務理事の選定について

### (4) 第3回理事会

期日場所：平成26年2月18日、ラ・プラス青い森

報告事項：業務の執行状況について

- 議案：第1号議案 平成25年度事業計画及び収支予算の変更(補正)について  
第2号議案 予防接種事業手数料並びに各種事業手数料の改定について  
第3号議案 平成26年度事業計画及び収支予算(暫定)について  
第4号議案 旅費規程の一部変更について  
第5号議案 役員の補欠選任について

第6号議案 臨時総会の開催について（書面議決）

第7号議案 平成26年度定時総会・第1回理事会の開催（案）について

(5) 平成25年度臨時総会（書面議決）

期日場所：平成26年3月11日、青森県畜産協会 会議室  
議案：第1号議案 役員の補欠選任について

(6) 第4回理事会（書面議決）

期日場所：平成26年3月31日、青森県畜産協会 会議室  
議案：第1号議案 副会長の選定について

## 10. 監査会等の実施状況

(1) 監事会

期日場所：平成25年5月23日、青森県畜産協会 会議室  
監査事項：平成24年度会計事務及び業務に関する監査

(2) 三上公認会計士事務所による会計事務等の調査・指導

- ① 平成25年5月17日、平成24年度決算に係る財務調査・指導
- ② 平成25年11月14日、平成25年度中間財務調査・指導
- ③ 平成26年3月17日、平成25年度財務調査・指導
- ④ 平成26年3月31日、予防接種事業ワクチン在庫の現地確認調査（八戸市、十和田市）

## 11. 基金に関する事項

(1) 預り運営基金

(単位：円)

区 分		肉用子牛	肉 豚	家畜衛生	計
正 会 員 (69 団体)	期首残	254,260,000	178,100,000	81,000,000	513,360,000
	増 減	0	0	0	0
	期末残	254,260,000	178,100,000	81,000,000	513,360,000

(2) 運営特別基金等

(単位：円)

団 体 名		運営特別基金	肉用子牛		計
農畜産業振興機構	期首残	174,370,000	-		174,370,000
	増 減	△174,370,000	-		△ 174,370,000
	期末残	0	0		0
全国肉用牛振興基金協会		-	5,000,000		5,000,000
計		0	5,000,000		5,000,000

## 12. 会員名簿

### (1) 正会員

H26. 3. 31 現在

No.	会 員 名	No.	会 員 名
1	青 森 県	43	(公社) 青森県獣医師会
2	青 森 市	44	(一社) 青森県配合飼料価格安定基金協会
3	弘 前 市	45	(一社) 青森県養豚協会
4	八 戸 市	46	青森県養鶏協会
5	黒 石 市	47	青森農業協同組合
6	五 所 川 原 市	48	つがるにしきた農業協同組合
7	十 和 田 市	49	ごしょつがる農業協同組合
8	三 沢 市	50	つがる弘前農業協同組合
9	む つ 市	51	津軽みらい農業協同組合
10	つ が る 市	52	十和田おいらせ農業協同組合
11	平 川 市	53	ゆうき青森農業協同組合
12	平 内 町	54	おいらせ農業協同組合
13	今 別 町	55	八戸農業協同組合
14	外 ケ 浜 町	56	東青畜産農業協同組合
15	蓬 田 村	57	三戸畜産農業協同組合
16	鯡 ケ 沢 町	58	五戸畜産農業協同組合
17	深 浦 町	59	三本木畜産農業協同組合
18	藤 崎 町	60	青森県七戸畜産農業協同組合
19	鶴 田 町	61	田名部畜産農業協同組合
20	中 泊 町	62	大間町畜産農業協同組合
21	野 辺 地 町	63	斗南丘酪農農業協同組合
22	七 戸 町	64	東青地区家畜衛生推進協議会
23	六 戸 町	65	三八畜産衛生協議会
24	横 浜 町	66	上十三地区家畜衛生推進協議会
25	東 北 町	67	むつ地区家畜衛生推進協議会
26	お い ら せ 町	68	津軽地方家畜衛生推進協議会
27	六 ケ 所 村	69	(公社) あおもり農林業支援センター
28	大 間 町	70	中部上北広域事業組合
29	東 通 村	71	つがる市屏風山畜産組合
30	佐 井 村	72	袖平牧野畜産農業協同組合
31	三 戸 町	73	田代牧野畜産農業協同組合
32	五 戸 町	74	深持牧野畜産農業協同組合
33	田 子 町	75	奥瀬牧野畜産農業協同組合
34	南 部 町	76	法量牧野畜産農業協同組合
35	階 上 町	77	(農) 和平高原開発農場
36	新 郷 村	78	(農) 北栄トラクター利用組合

37	青森県農業協同組合中央会	79	(農)吹越台地飼料生産利用組合
38	全国農業協同組合連合会青森県本部	80	青森シャモロック生産者協会
39	全国共済農業協同組合連合会青森県本部	81	青森県養蜂協会
40		82	雪印種苗(株)十和田営業所
41	青森県農業共済組合連合会	83	ヤンマーアグリジャパン(株)青森推進部
42	青森県畜産農業協同組合連合会 青森県軽種馬生産農業協同組合	84	北原電牧(株)

(2) 賛助会員

No.	会 員 名	No.	会 員 名
1	青森県農業信用基金協会	2	青森県動物薬品器材協会

13. 役員名簿

H26. 3. 31 現在

役 職	氏 名	区分	所 属 団 体
会 長	渡 部 毅	非常勤	学識経験者 (元 十和田湖町町長)
副 会 長	山 崎 憲 久	非常勤	上十三地区家畜衛生推進協議会 会長
副 会 長	井 上 主 税	非常勤	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員
専務理事	山 田 育 夫	常 勤	学 識 経 験 者
理 事	小山田 久	非常勤	十 和 田 市 市 長
理 事	小 又 勉	非常勤	七 戸 町 町 長
理 事	古 川 健 治	非常勤	六ヶ所村 村長
理 事	山 口 眞 譽	非常勤	(公社)青森県獣医師会 理事
理 事	三 浦 正 名	非常勤	三八畜産衛生協議会 副会長 (五戸町長)
理 事	福 島 弘 芳	非常勤	津軽地方家畜衛生推進協議会 会長 (つがる市長)
理 事	山 内 正 孝	非常勤	青森県畜産農業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	大 関 政 敏	非常勤	ゆうき青森農業協同組合 代表理事組合長
理 事	布 施 久	非常勤	(一社)青森県養豚協会 会長理事
理 事	田 嶋 政 榮	非常勤	青森県農業共済組合連合会 理事
理 事	青 野 正 宣	非常勤	(一社)青森県配合飼料価格安定基金協会 理事長
監 事	白 戸 勝 一	非常勤	学識経験者 (ごしょつがる農協 組合長)
監 事	川 村 慎 一	非常勤	法量牧野畜産農業協同組合 代表理事組合長

## II 事業の状況

### 1 事業実施概要

高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫の発生に伴い、消費者に信頼される畜産物の生産体制の確立と家畜排せつ物の堆肥利用による耕畜連携の利用促進、加えて地域性に配慮した担い手の育成と家畜衛生対策の充実強化が強く求められている。

近年、配合飼料や生産資材の高騰により各畜種とも収益が低下しており、経営の合理化や生産コストの低減に向けた取り組みが求められており、家畜の損耗防止対策、経営及び生産技術の向上対策、飼料自給率向上対策及び価格安定対策などを県・市町村及び関係団体と連携して推進し、本県の畜産振興に寄与した。

## III 事業別実績概要

### 一般会計

#### 1 経営支援対策 (継続1)

##### 1. 補助事業

(1) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業 (機構補助・事業費 9,114,000円+1,085,000円)

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、生産者の拠出と国の助成により造成した基金から、粗収益と生産費との差額の8割を補填することにより、肉用牛肥育経営の安定を図る制度で、肉用牛生産基盤拡大に寄与した。なお、粗収益が生産費を下回ったため、平成23年7月期から毎月補填となり、平成25年2月期から平成26年1月期(平成26年3月交付実績)までの期間において補填金の交付を行い経営の安定に資した。

① 対象家畜：

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
積立金取扱頭数	4,288 頭	5,938 頭	20,296 頭	30,522 頭

② 交付条件：1頭当たりの生産費と粗収益との差額分の8割

③ 補填金の交付及び基金管理に要する事務

④ 事業推進委託等 (事務委託先：14団体)

⑤ 補填金の交付状況 (単位：円)

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
平成25年2～3月期	0	56,706,300	220,917,200	227,623,500
平成25年4～26年1月期	0	165,572,600	811,388,200	976,960,800
計	0	222,278,900	1,032,305,400	1,254,584,300

⑥ 平成25年度 生産者積立金単価

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	備 考
生産者積立金単価	18,000円	30,000円	25,000円	

(2) 地域畜産支援指導等体制強化事業（地全協補助・事業費 6,597,000円）

畜産農家の安定的経営を目的に基幹職員を配置し、国及び県等の各種事業の推進による畜産指導を効果的に行う体制を整備強化した。

- ア 畜産経営の支援体制強化
- イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供
- ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化

(3) 堆肥利用ネットワーク推進事業（地全協補助・(2)の内数で事業費 970,393円）

耕畜連携のもと、堆きゅう肥の利用促進を図るため普及啓発活動を実施した。

- ア 相談窓口の設置 3件
- イ 堆肥利用技術のセミナー開催 1回
- ウ 審査会、検討会の開催 1回
- エ 畜産堆肥展示会 5回
- オ 堆きゅう肥品評会 1回
- カ ホームページによる情報提供 12回

(4) 若手及び女性農業者支援体制強化事業（地全協補助・(2)の内数で事業費 236,648円）

畜産をめぐる厳しい情勢に対応するため、女性の経営意識を高め、地域一丸となって生産技術の向上に努める必要がある。よって、畜産に携わる女性を中心とした研修会等を開催し、生産技術の向上を図った。

第11回モーモーマー母ちゃんの集い（H26.3.14 十和田市）56名

(5) 県産食肉消費拡大推進事業（地全協補助・(2)の内数で事業費 1,513,823円）

県産食肉等（牛・豚・鶏）について、消費拡大及び普及啓蒙を図るため、消費者や飲食業者へ向けたセールスプロモーションを開催した。

① 青森シャモロック：メイプルタウンフェスタ2014（H25.11.2～3 六戸町）30,000名

あおもりカレーまつり（H26.1.11～13 青森市）6,000名

青森シャモロックPR販売会（H26.2.7 七戸町）2,000名

青森シャモロックPR販売会（H26.3.7 七戸町）2,000名

② 青森県産豚肉：手作りソーセージ教室（H25.9.19 青森市）24名

③ あおもり短角牛：函館バル街（H25.4.19 函館市）400食

A-ライン（H25.7.6～7 青森市）400食

青森ねぶた祭り（H25.8.2～7 青森市）600食

東北・北海道B1グランプリin十和田（H25.9.7～8 十和田市）600食

道の駅「とわだびあ」（H25.10.26～27 十和田市）600食

道の駅「奥入瀬ろまんパーク」（H25.11.4 十和田市）200食

道の駅「とわだびあ」（H26.3.1～2 十和田市）400食

道の駅「奥入瀬ろまんパーク」（H26.3.15～16 十和田市）400食

あおもり短角牛味わいフェア（H26.3.12～29 青森市飲食店）1,800食

(6) 馬事活性化推進事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 263,926円）

地方競馬の活性化、畜産の普及啓発と県内畜産物の消費拡大を図るため、盛岡競馬の開催に合わせ畜産フェアを開催した。 H25.11.4 岩手県盛岡市、県産畜産物 200 個

(7) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会補助・事業費 2,423,676円）

畜産特別資金が必要であると思慮される経営体の早期把握に努め、事業の適正かつ円滑な実施を図るため、融資機関及び借入者に対する必要な指導その他必要な支援を行った。

① 計画作成指導（なし）

② 改善計画見直し指導

資金名	借入者	経営分析による指導	現地指導
畜産経営維持緊急支援資金	12 戸	12戸	12戸

③ 改善計画達成指導

資金名	借入者	経営分析による指導	現地指導	濃密指導
大家畜経営改善支援資金	1 戸	1 戸	2 戸	0 戸
大家畜経営活性化資金	2	2	4	0
畜産経営維持緊急支援資金	12	12	12	3
計	15	15	18	3

(8) 民間グループ被災畜産農家救済活動推進事業（畜産経営支援協議会補助・事業費 1,449,997円）

福島第一原子力発電所の事故発生以降に収集された放射性セシウムを含む稲わらが給与された肉用牛から、食品衛生法の暫定規制値を越える放射性セシウムが検出されたことに伴い、被害を受けた肉用牛肥育経営の支援を図る目的から、(独)農畜産業振興機構の補助を受け緊急支援金を平成 23 年度に交付した。

平成 23 年度肉用牛肥育経営緊急支援事業において、78 事業対象者へ交付した緊急支援金 1,324,800,000 円（26,496 頭×50,000 円）について、四半期毎に販売・異動等された場合に生産者に返還請求を行い返還された額を(独)農畜産業振興機構へ返還した。

① 緊急支援金の生産者からの返還実績

区分	返還実績累計		未返還		返還進捗率
	頭数	返還額	頭数	未返還額	
返還実績	25,814	1,290,700,000	920	46,000,000	97.4%

② 今年度の緊急支援金の(独)農畜産業振興機構への返還実績

区分	返還実績頭数	返還実績額	備考
第 5 回返還(H25.5.15)	5,530	276,507,526	7,526 円(利息)
第 6 回返還(H25.8.26)	7,150	357,500,000	
第 7 回返還(H25.11.25)	1,577	78,871,514	21,514 円(利息)
第 8 回返還(H26.2.25)	813	40,650,000	
合計	15,070	753,529,040	

(9) あおもり短角牛消費拡大普及事業

(むつ小川原地域・産業振興財団補助・事業費 1,500,102円)

青森県の風土に根ざした貴重な牛肉である日本短角牛の特徴や魅力について県内外へ広くPRし、試食会などによる消費拡大、短角牛肉の強みを全面に出した販路の新規開拓、販売体制の確立などを実施することによって、県内での日本短角牛の知名度向上及び魅力ある食材としての認知を図り、もって本県日本短角牛生産者の意欲向上及び生産拡大を推進した。

- 函館バル街 (H25.4.19 函館市) 400食
- A-ライン (H25.7.6~7 青森市) 400食
- 青森ねぶた祭り (H25.8.2~7 青森市) 600食
- 東北・北海道B1グランプリ in 十和田 (H25.9.7~8 十和田市) 600食
- 道の駅「とわだぴあ」(H25.10.26~27 十和田市) 600食
- 道の駅「奥入瀬ろまんパーク」(H25.11.4 十和田市) 200食
- 道の駅「とわだぴあ」(H26.3.1~2 十和田市) 400食
- 道の駅「奥入瀬ろまんパーク」(H26.3.15~16 十和田市) 400食
- あおもり短角牛味わいフェア (H26.3.12~29 青森市飲食店) 1,800食

(10) 青森シャモロック市場調査を踏まえた消費拡大スキームの構築支援事業

(青森県産業技術センター補助・事業費 412,750円)

青森シャモロックの生産及び販路拡大を目的とした調査を実施し、その結果をもとに関係者で今後の方針等について検討を行った。

- ① 飲食店へのアンケート調査、結果の集計・整理
  - 利用店における意向調査：60件、利用店における訪問調査：11件
  - 新規店における意向調査：29件、新規店における訪問調査：8件
- ② 青森シャモロック販売促進に係る検討会 (H26.3.20 青森市) 17名

## 2. 委託事業

(1) 畜産経営体支援指導体制確立事業 (県委託・事業費 3,598,000円)

高度な技術を基盤とした生産性の高い畜産経営体を広範かつ急速に育成するため、畜産経営体の経営・生産技術の高度化に対する支援・指導を行い畜産の振興を図った。

- ① 畜産経営体支援指導研究会 1回
- ② 地域指導相談窓口の配置 2か所 (東青・下北、三八・上北、津軽)、73件
- ③ 畜産経営技術の総合支援個別支援 123件
- ④ ホームページによる情報提供 12回更新
- ⑤ 畜産情報のデータベース蓄積と経営支援 (巡回支援指導 10戸)

(2) あおもり型地域飼料資源活用推進事業 (県委託・事業費 390,000円)

県内の地域飼料資源の普及を目的とした調査を実施した。

- ① 稲SGSモニタリング調査 11件
- ② 稲SGS利用に関する意向調査 41件
- ③ ニンジンサイレージに関する意向調査 1件

(3) 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会委託・事業費 138,000円）

畜産をめぐる厳しい内外環境に対処するため、地域の特性と実態に即した団体の組織的活動が重要である。このため、関係団体と緊密な連携のもとに牛を飼う女性の仲間づくりとして研修会を開催した。 H26. 2. 8 むつ市、参加者 38名

(4) 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会委託・事業費 586,646円）

畜産経営の近代化と体質強化を図るため、畜産関係機械施設のリース事業により整備したトラクター等飼料生産利用設備及び生乳生産合理化施設の利用状況調査・指導並びに新規開拓に係る調査を行った。

① 利用状況調査・指導： 48戸、基数： 71基

② 新規開拓調査： 18農協各支所

(5) 畜産経営力向上緊急支援リース事業（日本草地畜産種子協会委託・事業費 329,926円）

TMRセンター、コントラクター等の経営の高度化に必要な機械のリース方式による導入の支援を行った。

借受者及び機械

（単位：千円）

借受者	リース機械名	事業費	補助金
(株)デイリーサポート吹越	ホイールローダー 外1台	14,660	7,330
(農)北栄トラクター利用組合	ロールベラー 外2台	12,500	6,250
漆畑ファーム(株)	トラクター 外6台	28,440	14,220
計	12台	55,600	27,800

(6) 飼料自給力強化支援事業（日本草地畜産種子協会委託・事業費 413,000円）

公共牧場等の採草地や放牧地において、土壌の浸食や流出により荒廃した箇所再生改良等に必要経費に対して経費の1/2を助成し、採草地等生産性向上を図った。

① 受益農業団体：むつ市川内地区牧野管理組合

② 事業工程：測量試験及び草地の再生改良工事 (0.3ha)

③ 工事費：5,496,750円（補助金：2,748,000円）

### 3. 協会単独事業（自主事業）

(1) 肉用牛肥育経営安定対策推進事業（事業費 6,142,000円）

肉用牛肥育経営安定対策事業の円滑な推進を図るために事務委託先 14団体に対し、委託事務に要する経費等を助成した。

(2) 畜産振興対策事業（事業費 689,905円）

① 広報事業

生産技術の普及向上のため、各地域の畜産共進会に副賞を授与した。また、「畜産協会だより」を4回（1,600部）発行し配布した。

② その他畜産振興に対する支援を行った。

(3) 草地畜産振興対策事業（事業費 24,123 円）

市町村及び農業協同組合等が運営管理している公共牧場及び草地・飼料作物の生産に係る団体が抱えている問題解決のため研修会、公共牧場交流会、展示圃の継続調査、情報の収集・提供を行うと共に地域の活動を支援し、草地畜産に関する普及啓発活動を実施した。

- ① 稲WC Sに関する現地研修会（十和田市）
- ② 十和田市公共牧場再生シンポジウム（十和田市）
- ③ 草地整備に係るGPS簡易測量支援（深持牧野組合 12.8ha 十和田市）

4. 馬事畜産振興対策事業

青森県馬事畜産振興協議会を通じて盛岡競馬場の観戦ツアーを開催した。

盛岡競馬場観戦ツアー（H25.10.6 岩手県盛岡市）169名

5. 養蜂対策事業

青森県養蜂協会の事務局として「はちみつ品評会」を開催し、はちみつの品質向上を図った。

はちみつ品評会 H25.12.25 八戸市、出品数 50点

**特別会計**

1. 肉用牛肥育経営安定特別対策特別会計（事業費 2,780,719,977円）

肉用牛肥育経営安定特別対策事業の生産者積立金の徴収及び基金管理の適正な運営を図った。

平成25年度(4~3月)基金管理状況

平成26年3月31日現在

区 分		肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
生産者積立頭数		3,557 頭	4,920 頭	16,526 頭	25,176 頭
生産者積立金単価		18,000 円	30,000 円	25,000 円	—
収 入	生産者積立金	64,026,000	147,600,000	413,150,000	624,776,000
	機構補助金	192,078,000	442,800,000	1,239,450,000	1,874,328,000
	受 取 利 息	36,346	50,145	116,159	202,650
	計	256,140,346	590,450,145	1,652,716,159	2,499,306,650
基金累計額		256,140,346	590,450,145	1,652,716,159	2,499,306,650
支 出	補填金交付額	0	165,572,600	811,388,200	976,960,800
	積立金返戻額	0	0	0	0
	計	0	165,572,600	811,388,200	976,960,800
基金残額		256,140,346	424,877,545	841,327,959	1,522,345,850

平成25年度 補填金の交付状況

(単位：頭・円)

区 分	肉専用種		交 雑 種		乳 用 種		計
	頭数	単価	頭数	単価	頭数	単価	
平成25年2月期	—	—	461	78,300	1,597	69,200	146,608,700
	—		36,096,300		110,512,400		
平成25年3月期	—	—	450	45,800	1,683	65,600	131,014,800
	—		20,610,000		110,404,800		
(小計)			56,706,300		220,917,200		227,623,500
平成25年4月期	—	—	467	38,700	1,815	63,900	134,051,400
	—		18,072,900		115,978,500		
平成25年5月期	—	—	448	33,900	1,722	56,000	111,619,200
	—		15,187,200		96,432,000		
平成25年6月期	—	—	418	35,200	1,626	45,700	89,021,800
	—		14,713,600		74,308,200		
平成25年7月期	—	—	412	65,400	1,661	43,200	98,700,000
	—		26,944,800		71,755,200		
平成25年8月期	—	—	408	62,800	1,754	48,600	110,866,800
	—		25,622,400		85,244,400		
平成25年9月期	—	—	407	53,500	1,613	45,500	95,166,000
	—		21,774,500		73,391,500		
平成25年10月期	—	—	455	40,000	1,793	41,700	92,968,100
	—		18,200,000		74,768,100		
平成25年11月期	—	—	461	14,200	1,783	41,400	80,362,400
	—		6,546,200		73,816,200		
平成25年12月期	—	—	459	6,900	1,689	45,300	79,678,800
	—		3,167,100		76,511,700		
平成26年1月期	—	—	377	40,700	1,624	42,600	84,526,300
	—		15,343,900		69,182,400		
(小計)			165,572,600		811,388,200		976,960,800
合計	—	—	5,223	—	20,360	—	1,254,584,300
	—		222,278,900		1,032,305,400		

## 2 価格安定対策

### 1. 補給金事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度（機構補助・補てん金 17,450,500 円）

肉用子牛の再生産の確保と農業経営の安定を図るため肉用子牛の価格が低落し国の定める保証基準価格を下回った場合にその価格差を補てんする肉用子牛生産者補給金制度を実施した。

平成 25 年度は、第 5 業務対象年間の 4 年目であるが、個体登録頭数は前年比 101.6% の 11,555 頭となり、若干の増加となった。

子牛の分娩頭数の減少及び枝肉価格の上昇により、市場価格が高値で推移したため、平成 25 年度第 1 四半期を最後に生産者補給金の発動はなかった。年間の交付額については、その他肉専用種では 60 頭に対し 1,992,000 円、乳用種は 2,502 頭に対し 15,458,500 円を交付した。

① 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：戸)

区分	個人	農協	農事組 合法人	株式 会社	有限 会社	市町村	その他	計
23 年度末	1,061	5	3	2	8	1	0	1,080
24 年度末	1,064	5	3	2	8	1	0	1,083
25 年度末	1,067	5	3	3	9	1	0	1,088

② 事務委託先契約締結状況

(単位：件)

区 分	総合農協	専門農協	そ の 他	計
23年度末	9	4	1	14
24年度末	9	4	1	14
25年度末	9	4	1	14

③ 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

区 分 品種区分		平成 25 年 1 月 1 日 ～ 3 月 31 日	4 月 1 日 ～ 6 月 30 日	7 月 1 日 ～ 9 月 30 日	10 月 1 日 ～ 12 月 31 日	1 月～ 12 月 合 計	平成 26 年 1 月 1 日 ～ 3 月 31 日
		黒毛和種	継続	268	229	293	362
新規	862		613	647	948	3,070	863
計	1,130		842	940	1,310	4,222	1,113
褐毛和種	継続	0	0	0	0	0	0
	新規	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
その他 肉専用種	継続	7	7	3	4	21	3
	新規	30	4	57	58	149	13
	計	37	11	60	62	170	16

乳用種	継続	1	3	1	1	6	2
	新規	1,570	1,330	1,050	951	4,901	1,703
	計	1,571	1,333	1,051	952	4,907	1,705
乳用交雑種	継続	2	1	0	1	4	1
	新規	627	575	562	488	2,252	611
	計	629	576	562	489	2,256	612
合 計	継続	278	240	297	368	1,183	256
	新規	3,089	2,522	2,316	2,445	10,372	3,190
	計	3,367	2,762	2,613	2,813	11,555	3,446

④ 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円／頭)

品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳交雑種
保証基準価格	320,000	292,000	209,000	122,000	188,000
合理化目標価格	273,000	251,000	144,000	86,000	142,000

⑤ 指定肉用子牛の規格

肉用子牛の種別	体 重
黒毛和種	240キログラム以上 310キログラム以下
褐毛和種	260キログラム以上 340キログラム以下
無角和種	230キログラム以上 300キログラム以下
日本短角種	200キログラム以上 300キログラム以下
アングス種及びヘレフォード種	180キログラム以上 280キログラム以下
ホルスタイン種（雌を除く）	220キログラム以上 310キログラム以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	220キログラム以上 310キログラム以下

⑥ 平均売買価格

(単位：円)

区 分 \ 品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
平成25年 1月 1日～ 3月31日	452,700	401,800	170,800	105,400	241,200
平成25年 4月 1日～ 6月30日	471,400	411,100	244,000	120,300	265,000
平成25年 7月 1日～ 9月30日	494,600	427,500	209,400	131,600	285,300
平成25年10月 1日～12月31日	538,900	447,000	320,400	144,900	333,500

⑦ 生産者積立金造成内訳

(単位：頭、円)

品 種		個体 登録 頭数	積立金 単価	積立金 所要額	負 担 区 分		
					機構 (1/2)	青森県 (1/4)	生産者 (1/4)
黒毛和種	継続	1,152	2,200	—	—	—	633,600
	新規	3,070	2,200	—	—	—	1,688,500
	計	4,222	—	9,288,400	4,644,200	2,322,100	2,322,100
褐毛和種	継続	0	11,900	—	—	—	0
	新規	0	11,900	—	—	—	0
	計	0	—	0	0	0	0
その他 肉専用種	継続	21	24,400	—	—	—	128,100
	新規	149	24,400	—	—	—	908,900
	計	170	—	4,148,000	2,074,000	1,037,000	1,037,000
乳用種	継続	6	12,700	—	—	—	19,050
	新規	4,901	12,700	—	—	—	15,560,675
	計	4,907	—	62,318,900	31,159,450	15,579,725	15,579,725
乳用 交雑種	継続	4	5,000	—	—	—	5,000
	新規	2,252	5,000	—	—	—	2,815,000
	計	2,256	—	11,280,000	5,640,000	2,820,000	2,820,000
合 計	継続	1,183	—	—	—	—	785,750
	新規	10,372	—	—	—	—	20,973,075
	計	11,555	—	87,035,300	43,517,650	21,758,825	21,758,825

(注) 個体登録頭数は平成25年1月～12月分

契約生産者1頭当たり積立金額

(単位：円)

品 種	負 担 金	備 考
黒毛和種	550	
褐毛和種	2,975	
その他肉専用種	6,100	
乳用種	3,175	
乳用交雑種	1,250	

⑧ 生産者積立金及び生産者積立準備金管理状況

(単位：円)

区分		保証基準価格の品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種	合計		
1 期首 残高	①	生産者積立金	41,762,342	0	11,053,003	151,385,332	36,585,531	240,786,208		
	②	生産者積立準備金	-	-	-	-	-	99,733,304		
	内訳	③	生産者の負担金充当分	-	-	-	-	-	23,965,629	
		④	県の生産者積立助成金充当分	-	-	-	-	-	75,767,675	
		⑤	機構の生産者積立助成金充当分	-	-	-	-	-	0	
2 生産者積立金積立実績	⑥	生産者積立金純増加額(⑨+⑫+⑮+⑱)	6,332,700		2,982,900	46,720,125	8,455,000	64,490,725		
	⑦	生産者積立準備金からの繰入額(⑩+⑬+⑯)	2,955,700		1,165,100	15,598,775	2,825,000	22,544,575		
	⑧	計	9,288,400		4,148,000	62,318,900	11,280,000	87,035,300		
	内	生産者	⑨	負担金	1,688,500		908,900	15,560,675	2,815,000	20,973,075
			⑩	生産者積立準備金③からの繰入額	633,600		128,100	19,050	5,000	785,750
			⑪	小計	2,322,100		1,037,000	15,579,725	2,820,000	21,758,825
	県	⑫	生産者積立助成金	0		0	0	0	0	
		⑬	生産者積立準備金④からの繰入額	2,322,100		1,037,000	15,579,725	2,820,000	21,758,825	
		⑭	小計	2,322,100		1,037,000	15,579,725	2,820,000	21,758,825	
	訳	機構	⑮	生産者積立助成金	4,644,200		2,074,000	31,159,450	5,640,000	43,517,650
			⑯	生産者積立準備金⑤からの繰入額	0		0	0	0	0
			⑰	小計	4,644,200		2,074,000	31,159,450	5,640,000	43,517,650
			⑱	生産者積立金とすることを指定して寄附又は補助された財産	0	0	0	0	0	0
3 他の資産からの繰入状況等	⑲	特別の積立金から生産者積立金への繰入額	0	0	0	0	0	0		
	⑳	調整積立金から生産者積立金への繰入額	0	0	0	0	0	0		
	㉑	生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額	0	0	0	0	0	0		
	㉒	生産者積立金に係る運用果実	44,967	0	2,041	191,108	43,729	281,845		
	㉓	他資金から生産者積立金への繰入額	0	0	0	0	0	0		
	㉔	生産者補給金交付額(生産者積立金部分)	0	0	0	0	0	0		
	㉕	生産者積立金からの借入金返済額	0	0	0	0	0	0		
	㉖	他資金からの繰入による借入金返済額	0	0	0	0	0	0		
	㉗	他の資金から生産者積立準備金への繰入額	0	0	0	0	0	0		
	㉘	生産者積立準備金に係る運用果実	-	-	-	-	-	141,006		
	㉙	生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額	0	0	0	0	0	0		
	㉚	生産者積立準備金からの返還額(生産者分)	-	-	-	-	-	140,758		
4 期末 残高	内訳	㉛	生産者積立金(①+⑧+⑯+⑳+㉑+㉒+㉓-㉔-㉕-㉖-㉗)	51,095,709	0	15,203,044	213,895,340	47,909,260	328,103,353	
		㉜	生産者積立準備金(②-⑦+㉘+㉙-㉚-㉛)	-	-	-	-	-	77,188,977	
		㉝	生産者の負担金充当分	-	-	-	-	-	23,074,440	
		㉞	県の生産者積立助成金充当分	-	-	-	-	-	54,114,537	
	㉟	機構の生産者積立助成金充当分	-	-	-	-	-	0		

⑨ 特別の積立金造成状況

(単位：円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	乳用交雑種	合計
期首残高					11,183,468		11,183,468
増 加	積立金				0		0
	運用益				1,201		1,201
	小計				1,201		1,201
減 少	普通財産へ繰入				2,952,000		2,952,000
	生産者積立準備金へ繰入				0		0
	償還円滑化積立金へ繰入				0		0
	小計				2,952,000		2,952,000
期末残高					8,232,669		8,232,669

⑩ 償還円滑化積立金造成状況

(単位：円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	乳用交雑種	合計
期首残高			127,153		286,445	8,923,854	9,337,452
造 成 内 訳	機構補助金						0
	青森県補助金						0
	生産者負担金						0
	合計		0		0	0	0
特別の積立金より繰入額			0		0	0	0
運用益			219		491	15,306	16,016
全国協会への償還額			0		0	0	0
期末残高			127,372		286,936	8,939,160	9,353,468

⑪ 生産者補給交付金交付状況

(単位：頭、円、人)

区分	保証基準価格の 品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	乳用 交雑種	合計
平成 25 年	交付対象 頭数①	販 売			7	930		937
		保 留			53	329		382
		合 計			60	1,259		1,319
1 月 1 日 ～ 3 月 31 日	②生産者補給金単価				33,200	10,600		—
	③生産者補給金交付額				1,992,000	13,345,400		15,337,400
	(①×②)	不足払部分			1,992,000	13,345,400		15,337,400
		積立部分			0	0		0
	交付対象生産者数				9	13		20
平成 25 年	交付対象 頭数①	販 売				921		921
		保 留				322		322
		合 計				1,243		1,243
4 月 1 日 ～ 6 月 30 日	②生産者補給金単価					1,700		—
	③生産者補給金交付額					2,113,100		2,113,100
	(①×②)	不足払部分				2,113,100		2,113,100
		積立部分				0		0
	交付対象生産者数					15		15
平成 25 年	交付対象 頭数①	販 売						0
		保 留						0
		合 計						0
7 月 1 日 ～ 9 月 30 日	②生産者補給金単価							—
	③生産者補給金交付額							0
	(①×②)	不足払部分						0
		積立部分						0
	交付対象生産者数							0
平成 25 年	交付対象 頭数①	販 売						0
		保 留						0
		合 計						0
10 月 1 日 ～ 12 月 31 日	②生産者補給金単価							—
	③生産者補給金交付額							0
	(①×②)	不足払部分						0
		積立部分						0
	交付対象生産者数							0
合 計	交付対象 頭数①	販 売			7	1,851		1,858
		保 留			53	651		704
		合 計			60	2,502		2,562
	②生産者補給金単価				—	—		—
	③生産者補給金交付額				1,992,000	15,458,500		17,450,500
	(①×②)	不足払部分			1,992,000	15,458,500		17,450,500
		積立部分			0	0		0
交付対象生産者数				9	16		25	

## 2. 補助事業

(1) 肉用牛繁殖経営支援事業（機構補助・事業費 4,082,500円）

① 事業内容：肉用子牛の四半期毎の平均売買価格が発動基準を下回った場合、当該四半期に販売又は自家保留された肉用子牛を対象として、発動基準を下回った額の3/4を交付する。

② 発動基準

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種
平成24年度第4四半期	380,000円	350,000円	250,000円
平成25年度	410,000円	370,000円	270,000円

③ 交付状況

(単位：円)

区 分	黒毛和種		褐毛和種		その他肉専用種	
	頭数	金額	頭数	金額	頭数	金額
平成24年度第4四半期	—	—	—	—	60	2,070,000
第1四半期	—	—	—	—	45	877,500
第2四半期	—	—	—	—	25	1,135,000
第3四半期	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	130	4,082,500

区 分	合 計	
	頭数	金額
平成24年度第4四半期	60	2,070,000
第1四半期	45	877,500
第2四半期	25	1,135,000
第3四半期	—	—
計	130	4,082,500

(2) 肉用牛子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業（機構補助）

① 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（事業費 8,444,119円）

ア 制度運営適正化推進

肉用子牛生産者補給金制度に係る業務の適正な実施を図るため、肉用子牛の個体識別、個体登録及び販売・保留・異動の確認等事務推進に努めた。また、家畜市場における肉用子牛の取引情報を収集し、独立行政法人農畜産業振興機構へ報告を行った。

イ 指定協会調査指導

協会の業務規程に基づき、協会が事務を委託する者が行う委託事務の執行についての点検、調査及び指導を実施し、肉用子牛生産者補給金制度の適正な実施体制の確保に努めた。

② 指定協会運営体制支援事業（事業費 5,033,136円）

肉用子牛生産者補給金制度の業務を円滑に遂行するため、独立行政法人農畜産業振興機構から財政支援を受け、当協会の運営体制の充実を図った。

(3) 肉用牛経営安定対策補完事業（機構補助）

（事業費 19,036,674円うち補助金 12,963,984円）

肉用牛生産が中山間地域の基幹的な農業部門のひとつとして、地域経済の活性化に重要な役割を果たしていることを踏まえ、高齢化等に対処する肉用牛ヘルパー組織への支援、地域の特色ある肉用牛振興対策等を実施し、多様な肉用牛経営の実現を図った。

① 中核的担い手育成増頭推進

計画的に高能力の肉専用種繁殖雌牛を増頭した者に対する奨励金の交付（14頭）

② 優良繁殖雌牛導入支援

優良な繁殖雌牛を導入し地域内の繁殖農家に貸し付けた場合の奨励金の交付（79頭）

③ 肉用牛ヘルパー推進

肉用牛ヘルパー利用組合が実施した活動経費に対する補助（3組合）

④ 地方特定品種等の振興

地方特定品種の低コスト生産を行うために必要な放牧地の整備等に対する補助（2団体）

⑤ 山振地域における肉用牛振興

山振地域在住生産者に対する優良子牛の適正出荷奨励金の交付（292頭）

⑥ 肉用牛振興推進指導

推進会議等の開催、事業推進指導の実施

(4) 家畜改良対策推進事業（国補助 1,520,000円）

新規に選抜された生産性の高い系統の優良種雄牛の利用促進のため、生産された肥育素牛（雄去勢）を肥育しその枝肉成績を提供する肥育生産者に対して奨励金を交付した。（76頭）

### 3. 委託事業

(1) 養豚経営安定対策事業（機構委託・事業費 455,339円）

全国の豚枝肉卸売平均価格が生産コストに相当する保証基準価格を下回った場合、その差額の8割を補填することにより、養豚経営の安定と豚肉の安定供給を図る事業である。

本年度は、(独)農畜産業振興機構の委託を受け、事業実施主体となる養豚生産者及び関係団体への事業説明会を開催したほか、事業内容の問い合わせ対応を行った。

また、2戸の養豚生産者と申請事務等委託契約を締結し、生産者が(独)農畜産業振興機構へ提出する書類の作成代行等の事務を行った。

① 対象肉豚：全規格の肉豚（全廃棄・自家消費豚は除く）

② 生産者積立金：2,000円/頭（うち生産者負担額1,000円）

③ 補填金単価：平均粗収益が平均生産コストを下回った場合、その差額の8割を補填

#### 4. 肉用子牛生産者補給金の不正受給について

平成18年度に確認された不正受給については、引き続き(独)農畜産業振興機構と協議しながら返還に係る請求等を行っている。

### 3 家畜衛生対策 (継続2)

#### 1. 補助事業

##### (1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業 (国補助・事業費 6,364,235円)

症状が明確でない慢性的な伝染性疾患の増加に加え、清浄化が困難な伝染性疾患の発生がみられることから、生産者サイドでの自主的・組織的な取組により疾患の清浄化及び発生・流行防止対策を推進し、損耗防止を図った。

##### ① ヨーネ病早期清浄化のための防疫推進

患畜同居牛の自主淘汰促進： 淘汰奨励費交付頭数 20頭 (10戸)

##### ② オーエスキー清浄化推進総合対策

種豚抗体検査：786頭 (1戸)

##### ③ 農場飼養衛生管理強化対策 (農場指導 80戸)

##### (2) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業 (国補助・事業費 14,210,270円)

牛海綿状脳症(BSE)の浸潤状況をより正確に把握し、BSEの防疫対策を検証するため、「牛海綿状脳症対策特別措置法」に基づき、24月齢以上の死亡牛の検査と適正処理の推進を図った。

死亡牛の管理促進費、輸送促進費及び化製処理費の補助： 24月齢以上 1,153頭

##### (3) 獣医師養成確保修学資金貸与事業 (国補助・事業費 7,616,165円)

本県の家畜防疫体制の強化を図るため、本事業の普及啓発を図り、獣医師養成確保修学資金を貸与した。

##### ① 修学資金貸与者：5名

##### ② 共同負担者：青森県、青森県農業共済組合連合会

##### (4) 豚丹毒予防接種向上対策事業 (市町村補助・事業費 71,805円)

豚丹毒の発生を防止することにより養豚産業の安定的な発展を図るため、本会が行う豚丹毒予防接種向上対策事業に要する経費の一部に対し、関係市町村が本会を経由して生産者に補助金を交付した。

##### ① 実施市町村： 七戸町、六戸町

##### ② 補助対象頭数： 4,787頭 (1頭当り15円)

##### (5) 家畜防疫互助基金支援事業 (機構補助・事業費 1,370,271円)

豚コレラ及び口蹄疫等の海外悪性伝染病が発生した場合、畜産経営への影響を緩和するため、飼養する豚及び牛の淘汰に伴う損失を生産者等が互助補償する仕組への加入推進を図った。

##### ① 対象伝染病： 口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚コレラ、豚コレラ

② 互助金交付： 殺処分又は自主淘汰した家畜の評価額及び焼却・埋却費用

③ 契約締結状況：(25年度末)

区 分	契約戸数	契約頭数	積立金額
牛	861	70,236	12,425,855
豚	35	300,299	17,327,865
計	896	370,535	29,753,720

(6) 衛生体制強化基金事業（中央畜産会補助・事業費 53,000円）

家畜伝染病予防接種推進対策事業の効率的な実施に必要な研修会を開催した。

生産者及び指定獣医師等を対象とした畜産技術研修会の開催： 1回

(7) 育成馬予防接種推進事業（中央畜産会補助・事業費 1,238,779円）

軽種馬生産地における伝染性疾病の発生流行防止のため、育成馬の予防接種の徹底を図った。

① 馬インフルエンザ、馬流行性脳炎、破傷風（3種混合）予防接種 358頭

② 馬インフルエンザ予防接種 78頭

③ 馬日本脳炎予防接種 15頭

## 2. 委託事業

(1) 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会委託・事業費 434,000円）

馬の生産、流通の広域化等により伝染性疾病の侵入、流行の危険性も大きいことから、競走馬以外の馬の飼養衛生に関する講習会の開催、基礎調査等を実施し馬衛生管理の向上を図った。

① 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会開催： 1回（H25.11.1 八戸市）

② 馬飼養衛生管理技術地方講習会開催： 1回（H25.11.1 八戸市）

講師：イチヤマホースクリニック 獣医師 一山 雄二郎 氏

講題：「馬における浸潤療法の実際」について

③ 馬獣医療実態調査： 9戸

(2) 農場HACCP認証普及推進支援対策事業（中央畜産会委託・事業費 1,127,265円）

県内における農場HACCP認証基準に基づく個別農場における農場HACCPへの取り組み状況の調査を実施した。また農場HACCPに取り組む農場に対して、専門家による農場HACCPの構築指導を行い、地域に農場HACCP取組の中核となる農家への支援を行った。

農場調査： 5戸、 農場指導： 6戸

(3) 生産地等馬伝染性疾病防疫強化特別対策事業（中央畜産会委託・事業費 1,216,547円）

乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種及び軽種馬の繁殖牝馬を対象とした馬鼻肺炎ワクチン接種の推進並びに感染症対策の普及啓発の検討を行った。

① 検討会の開催： 2回

② 馬インフルエンザ予防接種： 135頭（乗用馬 109頭、その他関連馬 26頭）

③ 馬鼻肺炎予防接種： 131頭

(4) 地域自衛防疫強化特別対策事業（家畜衛生対策推進協議会委託・事業費 1,308,623円）

生産段階での防疫演習等の実施農場立入関連技術者に対する異常畜早期発見に必要な研修、生産現場における家畜防疫体制の強化を図ることにより、伝染性疾病の発生予防など貿易措置の徹底を図った。

検討会の開催： 3回

防疫演習開催： 2地区実施

(5) 牛せき柱適正管理等推進事業（日本畜産副産物協会委託・事業費 737,110円）

畜産リサイクルシステムの機能の回復と豚肉骨粉等の飼料利用を推進するため、食肉業者と化製業者が原料の引渡し・引受け段階において牛原料を含まない原料供給の促進を図った。

契約業者数： 3業者

### 3. 協会単独事業（自主事業）

(1) 自衛防疫強化対策事業（事業費 571,007円）

最近における家畜の飼養衛生の実態を踏まえ、自衛防疫体制の確立と自衛防疫事業の効率的な推進を図った。

事業推進会議 運営協議会 1回（H26.2.3 青森市）

県推進会議 1回（H25.7.4 青森市）、地域推進会議 5か所

(2) 自主防疫推進事業（予防接種事業）（事業費 34,784,369円）

家畜伝染病の発生・流行の防止のため、国・県の指導のもとに、生産者・市町村関係団体及び地区家畜衛生推進協議会による防疫体制の強化を図りながら、指定獣医師による家畜伝染病予防接種事業の円滑な推進を図った。

予防接種事業の種類・実績

（単位：頭、羽）

種 類		実績数	種 類		実績数
鶏	ニューカッスル病 (ND)	84,000	牛	牛伝染性鼻気管炎 (6種)	49
	ニューカッスル病・IB (混)	55,000		牛クロストリジウム (3種)	7,193
豚	豚丹毒 (生20ml)	18,597	牛	牛クロストリジウム (5種)	90
	豚丹毒 (生50ml)	33,690		牛ヘモフィルス感染症	6,066
	豚丹毒 (不・オイル)	6,050		牛下痢 (5種混合)	111
	豚流行性脳炎	901	馬	馬インフル・流脳・破傷風 (混)	97
	豚パルボウイルス感染症	0		馬インフルエンザ	8
豚流脳・パルボ (混)	0	馬流行性脳炎	31		
牛	牛伝染性鼻気管炎 (5種)	7,281	馬鼻肺炎	7	

(3) 総合指導事業（事業費 1,058,317円）

家畜の疾病が複雑多様化していることから、地域で抱えている家畜衛生対策の課題解決に必要な事業への助成並びに指定獣医師の技術向上等を図った。

① 家畜防疫地域活性化促進事業

(東青地区) 産業動物獣医療安定確保対策事業

肉用牛飼養農家へ獣医師が定期的に巡回日を確認し、治療・繁殖検査等の診療機会を図った。

(むつ地区) ミルキングシステム点検事業

正しい搾乳技術とミルキングシステムの点検を促進し、乳質の向上と乳房炎の発生を予防し、もって酪農経営の安定を図った。 18戸

② 研修・広報事業

ア 地区研修会等開催状況 開催協議会： 4地区、開催回数：5回

イ 広報(5地区) 発行回数： 延33回、発行部数：6,588部

③ 家畜衛生功労者表彰

ア 表彰規程第2条第1項(生産者等)： 6名

イ 表彰規程第2条第2項(指導者等)： 1名

④ 事故対策

(4) 自衛防疫指導委託事業(事業費 2,750,000円)

地区家畜衛生推進協議会に対し、本会が行う自衛防疫関連事業及び総合指導事業などの推進を委託し、事業の円滑な推進を図った。(東青、三八、上十三、むつ、津軽)

(5) 家畜防疫互助推進事業(事業費 338,649円)

家畜防疫互助基金造成等支援事業の推進を補完した。

## 特別会計

### 1. 牛の検査材料保冷施設特別会計(事業費 9,133,673円)

(1) 牛海綿状脳症対策特別措置法に基づく、24月齢以上のすべての死亡牛を管理するため、県が設置した「牛の検査材料保冷施設」の管理委託を受け運営した。

① 設置場所： 野辺地町(畜産研究所内)

② 年間取扱頭数： 1,166頭

(2) 牛海綿状脳症清浄化推進対策事業(県委託・(1)の内数で事業費 1,263,410円)

牛の検査材料保冷施設における死亡牛のBSE検査に係る採材補助業務を行い、当該検査の円滑な推進を図った。